

NHKスペシャル “夢の丘”は危険地帯だった ～土砂災害 広島からの警告～

放送日：2014年10月31日 放送時間：49分



対象校種 小学校高学年 中学校 高校
対象教科 総合

この番組の良さ

● 夢の丘が、なぜ危険地帯に

2014年8月、広島市で豪雨による土砂災害が同時発生し、74人もの住民の命を奪うという甚大な被害をもたらしました。

一見どこにでもある丘の住宅街が、土石流に押し流されてしまいました。宅地開発はどのように進み、何が被害を拡大させたのでしょうか。そして、災害対策はなぜ生かされなかったのでしょうか。番組を通じて、明らかになっていきます。

● 土砂災害の危険とどう向き合うか

土砂災害の大きな要因の一つは、1時間に100mmを超える豪雨です。近年、このような豪雨は全国で頻発しています。私たちは、いつ、どこで危険にさらされるか分からない状況です。自分のこととして土砂災害に向き合い、危険を回避するために、何を知り、どう判断すればいいのでしょうか。番組を活用することで、災害への向き合い方を考えることができます。

番組活用のポイント

● 災害と人の生活との関わりを学ぶ

本番組は、広島土砂災害について3つの問いかけに答える形で構成されています。「なぜ被害は拡大したのか」「なぜ危険な山裾に家が」「なぜ教訓は生かされなかったのか」の3つです。事前の学習で、この3つの問いかけに対応した調べ学習や問題意識を高めることや、関係者の切実な「悔い」の言葉「じくじたる思いがありますね」「自分が鬼になれたかどうか」という問題ですね」を取り上げることによって、災害と人の生活との関わり、災害への人の向き合い方をより深く学ぶことができます。

● 土砂災害のメカニズムを知り、生活に生かす

番組では、表土の崩壊による土砂災害だけでなく、近年多発している、豪雨が原因のパイピング崩壊による土砂災害についても、発生のメカニズムや危険性を解説しています。防災とは、自然現象そのものをなくすことではなく、それが大きな災害につながらないようにすることです。土砂災害のメカニズムと発生しやすい場所を正しく理解することで、災害を最小限に食い止める方法を自分で考えて判断することの大切さを学ぶ学習へつなげることができます。

● 防災・減災についての学習をより深く行うために

防災について、より多様な見方・考え方を深めていきたい場合は、他のティーチャーズ・ライブラリーの番組を活用すると効果的です。『証言記録 東日本大震災 宮城県女川町～「巨大防潮堤は要らない」決断のわけ～』、NHKスペシャル「巨大津波が都市を襲う～東海・東南海・南海地震～」などの番組活用が効果的です。これらの番組と本番組を組み合わせることで、より多面的に防災・減災についての見方や考え方を学ぶことができます。



執筆者
西条市教育委員会
指導担当専門員 山内雅博